

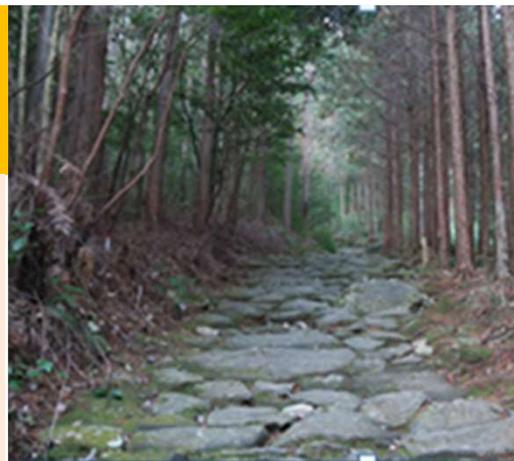
ルーラルツーリズムにおける持続可能な開発にむけたアクション

【日時】2020年2月26日(水)13:00～16:30(受付12:30～)

【場所】和歌山大学(和歌山市栄谷930番地)

【目的/内容】

- ・「地域」の持続可能な発展にいかに関光が貢献できるかについて、「スローツーリズム」による地域開発、地域コミュニティの強靱性、地域のキャパシティ、アイデンティティという観点から学びます。
- ・高齢化・人口減少・農業・工業の衰退等といった課題を抱える日本の非都市部の活性化に向け、観光をいかに活用しうるのか、SDGsの観点も踏まえ、実践的なアクションを考察。



言語:日本語/英語(同時通訳あり)

対象:自治体職員、観光業界関係者、学生及び観光に関心のある方

PROGRAM

国際観光の動向とルーラルツーリズムについて— 国連世界観光機関駐日事務所 国際課長 アルシンダ・トラウエン

JICAの観光開発協力とSDGs達成への貢献— 国際協力機構(JICA) 産業開発・公共政策部
民間セクターグループ 課長補佐 児玉 顕彦

インバウンド推進と地域振興— 日本政府観光局(JNTO)理事長代理 亀山秀一(前UNWTO事務局長アドバイザー)

日本のグリーンツーリズム(農業観光)について(仮)—和歌山大学食農総合研究所 特任助教 植田 淳子

地域資源を活用した観光開発— 農業法人株式会社秋津野

パネルディスカッション:持続可能な開発のための観光マネジメント—未来に向けたアクション

※講師は決定次第、順次以下ウェブサイトを更新を予定しています。

【申込方法】

⇒ 2020年2月14日までに当事務所ウェブサイト<https://unwto-ap.org/event/symposium/>からお申込みください。

⇒ 定員に制限があるため、早めにお申し込みください。定員になり次第募集を締め切ります。

申込期限:2020年2月14日(金)

【お問い合わせ】

国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所 鈴木・夏秋

電話:0742-30-3880

Email: event2020@unwto-ap.org

国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所、和歌山大学及び国際協力機構(JICA)共催
観光庁、和歌山県後援

